

はじめての日本

ルー タイン トゥ

私は7月30日に初めて日本に来て、多文化共学短期受入れ留学プログラム2017に参加しました。二週間でしたが、有益なことをたくさん勉強しました。

クラス分けテストの結果から、私は日本語 I のクラスに入りました。5日間の授業はいつも楽しかったです。日本語でいろいろなことを議論できました。「日にち変更の許可を求める」、「日常生活でいろいろなことを頼む」、「意見を言う・反論する」などのトピックをもとに会話を構成しました。Eメールの書き方も習いました。特に、「祭り」という1分スピーチが印象的でした。私は「ベトナムの中秋節」についてスピーチをしました。この授業の中で、先生も日本人の友達も私をよく手伝ってくれたので、本当に感謝しています。

発表準備では、とても緊張しましたが、皆と一緒にテーマを選んだり、話し合ったり、スライドを作ったり、それを修正したり、練習したりして、楽しい時間をすごしました。私のチームは「煮卵料理の比較」というテーマで発表しました。私は、ベトナムの「ティホータウ」という料理を紹介しました。準備から八日を経て、大成功でした。

8月5日に、私は奈良県にも行きました。文化財見学のために、東大寺、興福寺、奈良町を見て回りました。ガイドの方がいろいろなことを紹介してくれたので、歴史以外について多くのことを知りました。

日本での二週間、思い出深いことがたくさんありました。日本人の友達はとても優しく、熱心に、京都の美しい所にたくさん連れて行ってってくれました。そして、インドネシア人とタイ人とシンガポール人の友達とも、たくさん交流しました。私の日本語はまだまだですが、上達したいと思います。だから、もっと日本語を一生懸命勉強しようと思います。必ずまた日本に戻って来ます。

短い時間でしたが、皆さん、ありがとうございました。